

Vision & Core Value

滞在する場所から、自分たちの居場所へ
1万通りの理由を結ぶ「まちの翻訳者」、錦あわじプロジェクト

事務局

想いを結びつなぐ「翻訳者」

キャスト

ワーカー・学生・来訪者

まちの「物語」を動かす
通う毎日を、愛着のある物語に変える

企業

まちの「価値」を共創する
ビジネスの熱量を、まちの伝統と重ねる

自治体（区）

まちの「公共」を支える
公共空間に「愛着」を宿し、まちの資産価値を共にはぐくむ

住民

まちの「体温」を守る
都会にしながら顔の見えるつながりと安心
まいにちの暮らしを守り、質を高める

町会

まちの「粋」を次代へつなぐ
伝統を守る誇りを、共に歩む新しい仲間の熱量と結ぶ

Nishiki Awaji project

「都会の過疎化」
一見にぎやかなまちが抱える課題に向き合う

About & Critical Issues



圧倒的な昼夜人口差による

コミュニティの断絶

休日・夜間の「空白の時間」、昼の賑わいと対照的な静寂

コミュニティの不在が生む
「防犯の空白」

住民の減少と1万人のワーカー、まちの「伝統」を知らない「よそ者」の増加

揺らぐ「文化の継承」

キャスト

このまちの空気を一番吸っている。
なのに、まちの物語に触れる手段も
参加する術も持っていない。

企業

まちの伝統と繋がりたい。
でも、まちの奥行きに触れる
「きっかけ」がない。

自治体（区）

ウォーカブルを推進したい。
でも、現場のきめ細やかな合意形成や
管理運営は、行政だけでは手が足りない。

町会

文化や伝統を守りたい。
でも担い手不足で1万人のワーカーは
「まちを知らないよそ者」のまま。

住民

知らない「何か」が変わるのは怖い。
けれど、自分たちだけではこの
色を守りきれない。

毎日行き交う1万ものまちとの接点

でもその糸は交わらずにただ通り過ぎるだけ

伝統を「紡ぎ」、まちを「織り成す」
住民・企業・キャストが混ざり合う、共創のプロセス

[illegible]

引けば引くほどに強く結ばれる「あわじ結び」のように。
それぞれの色が絡み合うほどに美しく、私たちはこのまちの「錦」を未来へと織り成していく。
日本の粹を象徴する「錦織」は、先染めの多彩な糸が緻密に重なり合うことで光の織物となる。
住民の誇り、企業の熱量、キャストの参加。バラバラだった個性の糸が、翻訳者という「杼（ひ：縦糸と横糸を紡ぐ織機の用具）」によって結ばれ、神田錦町はかつてない品格と輝きを放つ錦のまちへ。



Result & Future